

氏名 後藤 進介 法科大学院等の在籍年次 3L

---

\*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながらかき込んでいって下さい。文字数及び頁数に制限はありません。

\*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

\*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

## 1 受入事務所と滞在期間

### (1) 事務所名

One Asia Lawyers シンガポールオフィス (Focus Law Asia LLP)

### (2) 所在地

16 Raffles Quay #21-01 Hong Leong Building Singapore 048581

<http://oneasia.legal/office/singapore>

### (3) 滞在期間

2025年2月4日 (火) ~3月1日 (金)

(※) インターンの期間は、2/5 (水) ~2/28 (金) の18日間 (土日休みを除く)。

## 2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

### (1) 事務所の構成

ジャパンデスクとシンガポールデスクがあります。業務はジャパンデスクの先生方と行いました。ジャパンデスクの先生方は日本語で案件をくださいます。事務所には、日本人のパラリーガルの方と事務員さん<sup>1</sup>がいらっしゃいました。また、大阪の法律事務所から研修に来られていた70期代の先生<sup>2</sup>もいらっしゃいました。

---

<sup>1</sup> インターン生のデスクのすぐ目の前にいらっしゃいました。何か困った際には、些細なことでもお時間を割いて丁寧にアドバイスや対応をいただきました。

<sup>2</sup> 何度か昼食をご一緒させていただくなど非常によくしていただきました。英・中国語を話すことができる背景を活かされつつ、他の国にも研修や事務所訪問に行き、コネクションを作られていました。そのお話を伺うことも大変おもしろく、私が今まで思っていた弁護士像が大きく変わるきっかけにもなりました。

## (2) インターンシップの内容・勤務条件など

### ア インターン時間中（業務）

インターンの時間は、平日9:00～18:00です。早く来ることや遅く帰ることは妨げられません。この時間中は、先生方の業務の一部を切り取っていただく形で、主に次のような課題に取り組みました。

- 契約書や法的文書の案作成／レビュー
- 雑誌記事やセミナー資料の改訂、案の作成
- シンガポールやASEAN諸国<sup>3</sup>の法令・実務慣行のリサーチ
- クライアントとの打ち合わせ・所内会議への同席
- 記録（仲裁案件）の読込み

内容としては、会社法関連、労働法関連、倒産法関連、競争法関連、国際仲裁・争訟関連に至るまで幅広い分野を拝見することができました。

### イ その他の活動

他にも次のような行事に参加しました。一例を紹介します。

#### ① 旧正月のイベント

ちょうど旧正月明けの時期にインターンに伺いました。事務所内で旧正月のお祝い事があり、みなさんと一緒に“ローヘイ<sup>4</sup>”をしました。そのときの写真は[こちら](#)<sup>5</sup>です。

#### ② 日本人のコミュニティへの参加

先生方にご一緒して、シンガポール居住の日本人コミュニティにも参加しました。海外には、〇〇県人会という集まりや法曹関係者を集めた会などさまざまなコミュニティがあるようです。現地駐在員の方や学生など多様なバックグラウンドを持った方が参加しています。

私は、タッチフットと[和僑会](#)<sup>6</sup>のランチ会にお邪魔しました。

## 3 宿舎及びその他の生活環境について

### (1) 滞在先

<sup>3</sup> 中には、インドネシアの競争法の論点もありました。このときは、指導担当の先生がインドネシアオフィスの先生に繋いでくださいました。メールでご質問をして、先生からインドネシア競争法のご概念・当該事案における問題点をご助言いただきました。複数拠点のある事務所ではかできない経験もさせていただきました。

<sup>4</sup> 魚生（ユーシェン）という海鮮サラダのような料理です。掛け声にあわせながら、長いお箸でサラダを宙に放り投げます。

<sup>5</sup> 事務所のLinked inに掲載されています。

[https://www.linkedin.com/posts/focus-law-asia-llc\\_cny2025-yearofthesnake-lunarnewyear-activity-7295265162536566784-UVOm?utm\\_source=li\\_share&utm\\_content=feedcontent&utm\\_medium=g\\_dt\\_web&utm\\_campaign=copy](https://www.linkedin.com/posts/focus-law-asia-llc_cny2025-yearofthesnake-lunarnewyear-activity-7295265162536566784-UVOm?utm_source=li_share&utm_content=feedcontent&utm_medium=g_dt_web&utm_campaign=copy)

<sup>6</sup> シンガポール和僑会HP <https://sg-wakyo.com/>

私は、次のホステルに滞在しました。

[施設名] 7 Wonder Hostel@Boat Quay

[料金] 40SDG (1泊あたり) ほど。日本円で4,000円ほど。

[諸条件]

- ・事務所までは徒歩12分ほど。
- ・ショッピングモール<sup>7</sup> (ダイソー、ドン・キホーテなどあり) に徒歩5分でアクセス可。
- ・衣類のアイロンあり。
- ・パンなどの簡易な朝食を利用可能。
- ・洗濯機は利用不可。
- ・徒歩3分圏内にコインランドリーあり (洗濯7SGD、乾燥4-5SGD) 。

## (2) 食事

先生とご一緒させていただくときを除き、事務所の隣にあるラオパサで食事をとることが多かったです。5~9SGDほど (日本円で500円から900円強) で食べられます。

## (3) 生活環境 (気候・服装)

最高気温30℃前後、最低気温25℃前後で、湿度も高いです。

- ※ 昼・夕方頃に突如雨が降ることがあるため、折りたたみ傘があると便利です。
- ※ インターン中の服装はビジネスカジュアルも可のようです。
- ※ 屋内はクーラーがよく効いているため、羽織物があると便利です。

## (4) 生活環境 (移動・交通機関)

地下鉄 (MRT) とバス<sup>8</sup>があります。タクシーも利用できます。

MRTとバスの乗車料金は、EZ-Linkカードという交通系ICカード (空港、駅構内などで購入可能) やクレジットカード (Visa、Master) などで支払うことができます。

## (5) 生活環境 (通信)

### ① Wi-Fi

事務所内ではWi-Fiをお借りしていました。公共的な場所 (空港・観光地) ではFree Wi-Fiが基本整備されています。

---

<sup>7</sup> Centralというショッピングモールです。

<sup>8</sup> 一部のバスは2階建てになっています。景色を楽しみながら移動することもできました。

## ② SIMカード

SIMフリーの携帯であれば、SIMカードまたはE-SIMを空港やコンビニなどで購入して利用することができます。私は1日1GBまでのE-SIM（30日間）を国内で事前購入しました。金額は2,300円ほどでした。

## 4 出発に向けた準備等について

### (1) 決定まで

#### ① 面接

学内メールで説明会の案内がありました。説明会に参加した後、学内メールに従って履歴書と志望理由書を添えて応募し、面接を受けました。

面接では、1名の先生から自己紹介や好きな科目などを英語で話すことが求められた後、2名の先生から日本語で補足的な質問を受けました。

#### ② 英語学習方法についてのご助言

先生から英語の学習方法についてご助言をいただく機会もいただきました。

#### ③ その他（大学院の講義）

インターンと密に関係のある科目をいくつかとっていました<sup>9</sup>。

#### ア 先端実務アジア比較法務

One Asia Lawyersの先生方は、神戸大学で「先端実務アジア比較法務」というTLP科目を担当されています。私は、この講義がきっかけでリアルを見聞きたいと思い、インターンに挑戦しました。シンガポールのみでなく南アジアやメコン三国のお話なども伺いました。

法体系、労働法制、紛争解決について知ったことをインターンで実際に使っていく感覚が非常におもしろかったです。

#### イ R&W渉外法務

法科大学院生といえども、国内で就職活動（〇〇ク拉克）やエクスターンに行かない限り、なかなか契約書・法的文書に触れる機会がないと思います。渉外法務は、新人アソシエイトとしてどうにかやっていけるようにする、という先生の指導の下で、一般条項のいろはから特定の契約（NDA、SPA、SHA、販売店・販売代理店契約）まで、実際にレビュー・回答案を作成する経験を積み、先生からフィードバックをいただくことができます。

習ったことがどこまで活かせたか自信はありません。しかし、この講義を受けなければ、本当に右も左も分からぬ状態で臨むことになっていたと思います。

---

<sup>9</sup> この他にも英語の授業もあります。個人的には、それをもってより一層英語能力を向上させてから行くことができれば、より充実した経験ができただろうと悔しく感じることもあります。

## (2) 手続系

### ① 学内手続

教務グループの方にご案内いただき、渡航届の提出や保険加入を行いました。

### ② 航空券・宿泊先の手配

滞在先は、過去のレポートの宿泊先名や場所を参考にして、その近所から選びました。

航空券<sup>10</sup>は、いくつかのサイトで比較して、一番安くなるように探しました。

※ 渡航する時期も航空券の価格に大きな影響を及ぼします<sup>11</sup>。

指導担当の先生・神戸大学の先生にインターン期間を調整いただく前に要確認です！

### ③ 入国手続

#### ア SGAC

シンガポール入国には、Singapore Arrival Card (SGAC) への登録が必要になります。

Webサイトまたはアプリより、入国72時間前（入国日を含む3日前）から申請できます。入力する情報は、氏名・連絡先、パスポートの情報、入国経路（航空券の情報）などです。空港でも手続はできるものの、事前に申請するとスムーズに入国できるようです。

#### イ ワークホリデーパス<sup>12</sup>

指導担当の先生から案内いただき取得しました。詳しくは脚注のリンクをご覧ください。

まとめると、大学卒業証明書（英文）とパスポートなどの書類を用意して申請を行い、3週間ほどで承認されると一応手続完了になります。

※ その後にPassカードを発行するかは指導担当の先生に指示を仰いでみてください。

## 5 インターンシップに要した費用

### (1) 総額

29万円弱<sup>13</sup>（航空券補助を控除すると**22万円**）

### (2) 内訳

〔航空券〕 10万円 ※ 大学より7万円の補助をいただけます。

<sup>10</sup> 往路・復路ともScootの関西空港—Changi国際空港直行便を利用しました。所要時間は往路6時間45分、復路6時間ほどです。

<sup>11</sup> 入国日の2/4は春節明けの時期で、帰路の2倍ほどしました。春節の時期にいったからこそ、様々な経験ができたため個人的には納得しています。しかしながら、当該地域でどのような行事があるか調べてから設定されることをおすすめします。

<sup>12</sup> 以下から情報を入手できます。

①MOM「[Work Holiday Pass \(under Work Holiday Programme\)](https://www.mom.gov.sg/passes-and-permits/work-holiday-programme)」。シンガポールの担当当局（MOM）のHPです。  
<https://www.mom.gov.sg/passes-and-permits/work-holiday-programme>

②ok lah「[シンガポールのワーキングホリデーパスの概要と申請方法](https://oklah.net/students/internship/93/)」シンガポールに来る学生向けに情報を発信している日本語のサイトです。  
<https://oklah.net/students/internship/93/>

<sup>13</sup> 25泊26日（インターン期間18日、休日6日、前後1日移動日）です。

[宿泊費]	11万7,000円ほど (25泊26日)
[通信費]	2,300円
[交通費]	4,000円弱 ※ 観光や空港からの移動です。通勤は徒歩でした。
[食費]	3万円強
[日用品・洗濯]	1万円弱
[観光・お土産]	2.5万円強

## 6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

### 司法試験後（司法修習前）に行くこと

在学中受験が始まり、司法試験後（司法修習前）に行くことが可能になりました。恐らく私が一番有益な情報を提供できるのはここだと思います。

以下では、いくつかの観点で情報を残します。

#### ① 気をつけなければならない点

当然、修習の手続を並行しなければなりません。司法研修所からの書類の郵送<sup>14</sup>、Teamsによる各種手続の案内、各種手続の〆切がきます。ちなみに、**Teamsには国外からアクセスできませんでした**。修習地によっては、引っ越し<sup>15</sup>も必要になります。

私の場合、インターンの期間は、各種手続の時期<sup>16</sup>、事前課題の提出時期<sup>17</sup>について先輩に話を聞いたり、77期修習生のブログ<sup>18</sup>を参照したりしつつ、2月いっぱいとししました。

#### ② 情報の受取り方

ただ、過去の時期と当該年度の修習のスケジュールが同一とは限りません。また、人によっては異なる手続が必要になる場合もあります。イレギュラーに備えて、私の場合、郵便物は実家に届くようにしていました。また、Teamsの連絡は、友人などに頼んで〆切が近いものを教えてもらうようにしていました<sup>19</sup>。

#### ③ この時期に行くことの意義

周りにお手数をおかけしたものの、この時期だからこそ行く意義も大きいと思います。

<sup>14</sup> 78期修習生では、修習場所の通知もTeamsでした。そのため、郵送を受けたのは、採用内定通知、配属庁の弁護士会からの連絡先登録の案内、白表紙（事前課題など）でした。

<sup>15</sup> 引っ越し場合、いつ解約するか12月・1月段階から考える必要があるかもしれません。一方で、修習場所が通知されるのは、1月末でした。そのため、判断のタイミングが非常に難しいように思われます。

<sup>16</sup> 2月中に〆切があったのは、兼業許可申請（ただし〆切以降も随時申請可能）でした。他に、3月初旬〆切の書類がいくつかありました。

<sup>17</sup> 事前課題の〆切日は、早くて導入修習開始日の5日前、遅くて直前でした。こちらは修了式の前に帰国すればどうにでもできると思います。

<sup>18</sup> 修習の開始が3月中旬からとなったのは、77期以降のためです。

<sup>19</sup> 改めて、周りの方のサポートがなければ、この時期に行けなかったことを実感します。ありがとうございました。

1つは、キャリアに関することです。時期としては、ファーストキャリアが決まっている、あるいはこれから決まる頃でしょう。先生方からは、この先のキャリアのことを自分の具体的なキャリアプランに照らしてアドバイスいただくこともありました。また、先生方の和僑会やタッチフットでの振る舞いは、弁護士の職業が机に向かって書面を作成し、法廷に立つことだけではないことを実感しました（まだまだ学生気分でも何も考えられていないことを痛感しました）。

2つめは、実務系科目（他の選択科目を含む）、国内エクスターン、就職活動を経験しているからこそ、少し余裕ができることです。司法試験前は、どうしても7科目と選択科目の勉強に取り組まざるを得ず、いきなり実務をみても“はてな”が飛び交うだけになってしまったのではないかと思います。もちろん、その中でがむしゃらに頑張っているいろいろ体得していくことにも大きな価値があります<sup>20</sup>。また、私が国内で十分な経験を積んだかといえば、むしろまだまだ何もわかっていないわけです。ただ、少なくとも国内の経験と比較したり、活用したりできるメリットは小さくないと思います。

## 7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

初の海外経験が“シンガポールで1カ月間、法律事務所にて研修をする”になりました。指導担当の先生も別の文脈で仰っていましたが、やればどうにかなるものだ、と帰ってきた今思います。期間中は、話せない英語に阻まれ、リサーチのやり方も通用せず、悔しいと思うことも多くありました。

私は、インターン前から“海外で働きます”“渉外案件に関心があります”“留学経験があります”といった強い野望やバックグラウンドがあったわけではありません。きっかけは、講義を聞いておもしろそう、やってみたいと思ったからにすぎないためです。このレポートにも高尚なことは書くことができません。小さな学びかもしれませんが、この期間、劇的に異なる環境に身を置き、自分は何も知らないことを知り、知っていること、つながりの幅を円状に少しずつ広げることができたこと自体が非常に大きな財産になったと感じています。

このような学びを得られたのは、一重に、このような私でも受け入れてくださったOne Asiaのみなさま、派遣にあたり温かいサポートをいただいた神戸大学の先生・職員のみなさま、この期間中にご縁をいただいたシンガポールの方々、先にインターンに行っていて今回行くにあたり背中を押してくれた友人・先輩、期間中に身の回りのことを含め支えてもらった家族・友人らのおかげです。

この場をお借りして、お礼を申し上げ、本レポートとさせていただきます。

<sup>20</sup> 国内と海外の順番が違うだけといわれるとそうかもしれませんが、どちらにもメリットがあると思います。

神戸大学法科大学院  
**Internship in Asia**  
情報共有のためのレポート

以上。